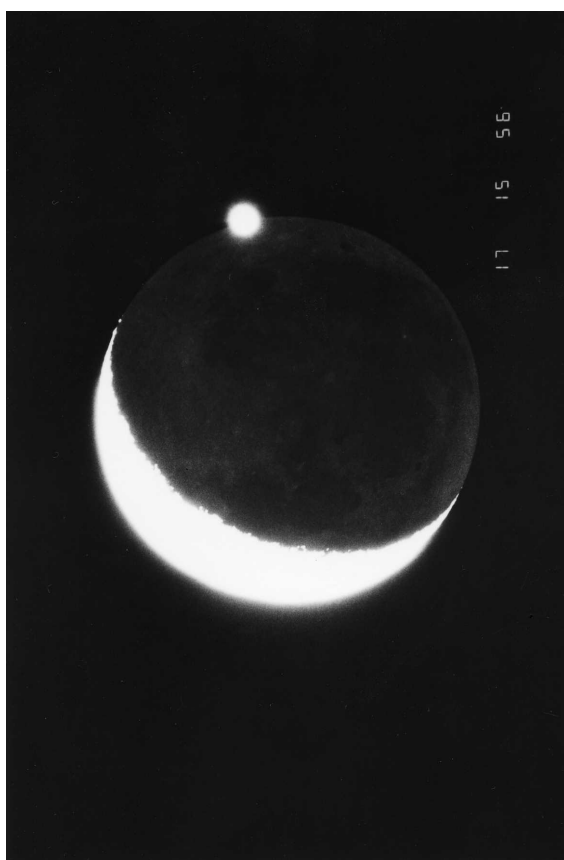


東京国立近代美術館は、2007年10月27日[土] - 12月24日[月・振休]の会期で、当館コレクションをもちいた小企画展示「天空の美術」展を開催いたしますので、お知らせいたします。

Skies and Stars: Celestial Images

# 天空の美術



1.

東京国立近代美術館 ギャラリー4

2007年10月27日[土] - 12月24日[月・振休]

プレス用イメージ・取材、展覧会内容など報道関係のお問合せ先

ギャラリー4 担当係

TEL: 03-3214-2561 / FAX: 03-3214-2576

e-mail: [pr-f@momat.go.jp](mailto:pr-f@momat.go.jp)

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1

<b>タイトル</b>	天空の美術
<b>会期</b>	2007年10月27日[土] - 12月24日[月・振休]
<b>開館時間</b>	午前10時から午後5時まで 金曜日は午後8時まで(入館はそれぞれ閉館30分前まで)
<b>休館日</b>	月曜日(ただし12月24日は開館)
<b>主催</b>	東京国立近代美術館
<b>会場</b>	東京国立近代美術館 ギャラリー4(2F) 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
<b>アクセス</b>	東京メトロ東西線竹橋駅1b出口 徒歩3分
<b>観覧料</b>	一般420(210)円、大学生130(70)円、高校生70(40)円 中学生以下、65歳以上は無料 障害者手帳をお持ちの方および付添者1名は無料 ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 *本展の観覧料で、当日に限り、所蔵作品展「近代日本の美術」もご覧いただくことができます *お得な観覧券「MOMATパスポート」でご覧いただけます
<b>無料観覧日</b>	11月3日[土]、4日[日]、12月2日[日](「天空の美術」展および所蔵作品展「近代日本の美術」のみ)
<b>お問合せ</b>	03-5777-8600(ハローダイヤル) <a href="http://www.momat.go.jp">http://www.momat.go.jp</a> (ホームページ)
<b>イベント</b>	アーティストトーク(小林正人   出品作家) 11月2日(金) 18:30-19:30 申込不要・参加無料(要観覧料) キュレータートーク(蔵屋美香   本展企画者・主任研究員) 11月11日[日] 11:00~ / 12月21日[金] 18:00~ 申込不要・参加無料(要観覧料)
<b>同時開催</b>	「日本彫刻の近代」展 2007年11月13日[火] - 12月24日[月・振休] 企画展ギャラリー(1F) 観覧料: 一般850(700 / 600)円、大学生450(350 / 250)円 高校生250(150 / 100)円 中学生以下は無料 障害者手帳をお持ちの方および付添者1名は無料 ( )内は前売 / 20名以上の団体料金の順。いずれも消費税込  *「日本彫刻の近代」展観覧券で当日に限り、「天空の美術」展および所蔵作品展「近代日本の美術」をご覧いただけます  所蔵作品展「近代日本の美術」 2007年10月27日[土] - 12月24日[月・振休] 所蔵品ギャラリー(4F - 2F) 観覧料: 一般420(210)円、大学生130(70)円、高校生70(40)円 中学生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方および付添者1名までは無料 ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込

## 展覧会の構成とみどころ

星空を見上げ、はるか遠い世界に思いをめぐらせることはありませんか。また、流れる雲に思いがけないかたちを見出すことはありませんか。ひとは古くから、天空の世界に刺激を受けてきました。とりわけ美術家たちは古くから、この世を超えた世界へのあこがれを託したり、かたちも重さもない空の高さや星の光をいかに表すか追求したりと、さまざまなかたちで表現を行ってきました。

この展覧会では、20世紀初頭から今日までの、空や星、雲をテーマにした絵画・写真・オブジェ約40点を集め、ご紹介します。



2.



3.



4.



5.

### はるか彼方へ

ひとは空を見上げるとき、地上で営まれる日常生活から離れ、人間の尺度を超えた無限の広がりや時間の流れに思いをはせています。モダンな和服姿の女性たちが天体望遠鏡をのぞきこみ、彼方へと視線を投げる、太田聴雨(星をみる女性)(図版 )。切手にもなった人気作品です。他に自らと姉、恋人をオリオン座の三つ星に見立てた関根正二の(三星)(1919年)や、アメリカの作家ジョゼフ・コーネルが星への旅を夢想して作ったオブジェ(ウィーンのパン屋)(1950年)などを展示します。

【図版 :ウジェーヌ・アジェ(1911年の日蝕) 1911年 ゼラチン・シルバー・プリント】

【図版 :太田聴雨(星をみる女性) 1936年 紙本彩色】

### 定点観測

刻々と移り変わって二度と同じすがたをとることのない雲。そして、何万年ものあいだ変わらぬ秩序で回転を続けてきた星たち。一瞬と永遠という、一見相反するものをとらえるため、ひとは定点観測 雲や星を長い期間同じ精神的な構えから見続けることという方法を見出しました。アメリカ写真の父、アルフレッド・スティーグリッツが雲を写した名作「イクィヴァレント」シリーズ(図版 )、「イクィヴァレント」へのオマージュとして撮り始められた川田喜久治の「ラスト・コスモロジー」シリーズ(図版 )、月の動きを五線譜上の音符に見立てた野村仁(‘moon’ score(月の譜) 1979.1.1)(1981年)など、おもに写真の連作によって表現された雲と星のすがたをご紹介します。

【図版 :アルフレッド・スティーグリッツ(イクィヴァレント) 1926年 ゼラチン・シルバー・プリント】

【図版 (表紙):川田喜久治(‘ラスト・コスモロジー’より 20世紀日本最後の金星蝕、東京) 1989年 ゼラチン・シルバー・プリント】

### 光にいだかれる

絵具とキャンバスという物質を、青空とそこに満ちる光という手に触れることのできないものに変換しようとした、小林正人の(絵画 = 空)(図版 )。今回は作家自身のセクションにより、(絵画 = 空)を、制作の原点である卒業制作(天使 = 絵画)(1984年、個人蔵)と共に展示します。

【図版 :小林正人(絵画 = 空) 1985-86年 油彩・キャンバス】

\*章のタイトル、構成等は変更の可能性があります。

FAX 送信票

2007 年 月 日

To: 東京国立近代美術館 美術課 ギャラリー4 担当係行 (FAX: 03-3214-2576)

広報用写真借用申込書

## 天空の美術

2007 年 10 月 27 日(土) ~ 12 月 24 日(月・振休)

東京国立近代美術館

貴社名

御依頼者氏名

御住所 〒

TEL: (内線 ) FAX:

e-mail:

出版物・放送番組名(含:扱い、コーナー名等)

種別:( 印をつけてください) TV ラジオ 雑誌 新聞 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他

発行・放送予定日: 年 月 日 時 分 ~ 時 分

下記の条件をよくお読みの上、表の空欄に 印をお付けください。

画像データ(JPEG)にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションを必ずご確認ください。掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。

	川田喜久治 (「ラスト・コスモロジー」より 20 世紀日本最後の金星蝕、東京) 1989 年 東京国立近代美術館蔵
	ウジェーヌ・アジェ (1911 年の日蝕) 1911 年 東京国立近代美術館
	太田聰雨 (星をみる女性) 1936 年 東京国立近代美術館蔵
	アルフレッド・スティーグリッツ (イクィヴァレント) 1926 年 東京国立近代美術館蔵 ©The National Museum of Modern Art, Tokyo, 2007
	小林正人 (絵画 = 空) 1985-86 年 東京国立近代美術館蔵

## &lt;プレス・イメージ貸出条件&gt;

1. 写真は、展覧会および美術館紹介の目的にのみご使用ください。使用後、画像データは消去してください。
2. 展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさを明示していただくようお願いいたします。
3. 写真を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。
4. データを第三者に渡すことは禁じます。
5. 掲載紙(誌)は、1冊、美術課宛にご寄贈下さい。web サイトの場合は、掲載時にお知らせ下さい。